保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人　龍美
施設名	ハッピードリーム鶴間分園ハッピードリームアネックス
報告者（役職）	土橋　一智（ 園長 ）
住所・連絡先	東京都町田市南町田 4-16-31
	☎　042-850-6069 E-mail　kazut@ryobi.or.jp

○タイトル（保育計画）

世界のおもちゃと日本の子ども　五感を育てるクオリティ！

○主な助成備品

シルケ人形　GM ドミノ　エレメントブロック　にじのキューブ　リバーランドスケープ 保育積み木　クネクネバーン　トレイクーゲンタワーレインボー　ロマネスクスケープ にじのステップブロック

１．保育計画策定の目的

ハッピードリームアネックスは、0 歳児から 2 歳児までを保育する 26 名の定員の小さな分園である。家庭的な環境の中、この時期の子どもたちは五感の発達を促進することが非常に大事な時期であると考える。

子どもたちの興味・関心を広げ、子どもたちの成長・発達に沿った主体的に遊び込める環境構成を目的としている。

２．具体的な実施内容

木や布の手触り、様々な色、硬いもの・柔らかいもの、擦れたり崩れたりする音を楽しみ、かつ世界的に伝統のある、舐めても安全な玩具を選んで保育の中に取り入れたいと考えた。

保育者が子どもに指示をして「遊ばせる」一斉保育ではなく、子どもたちがいつでも自分の興味関心のあるものに手が届く環境のもと、良質な玩具に囲まれて成長できるような環境構成に活かしたいと考えている。

３．その成果と評価

ブロックやキューブ、積み木では、様々な色合いの玩具を通して色に興味を持ったり、積み上げて崩すのを楽しんだり、建物などをイメージして作り上げていく様子から、発想力や創造力の向上が見られた。

運動遊具では、室内でも全身を使った遊びができ、バランスを取りながら落ちないように歩く様子から、バランス力のアップや体幹を鍛える効果に繋がった。また、どちらが長く落ちずにいられるかを競ったり、じゃんけんをして負けたら下りるというゲームに発展したりと社会性の育ちにも繋がった。

シルケ人形は、柔らかい素材を肌で感じたり匂いを嗅いだりと五感を使って楽しむほかに、子どもたちのイメージを広げたり、記憶や自分の経験から再現して遊ぶなど人間関係や表現の育ちを促す効果が見られた。人形をやさしく抱く姿や自分がされて嬉しかったことを人形にむけて再現している姿から、豊かな感性と表現力を感じた。

４．今後の課題と展望

美しい色合い、様々な素材の玩具を取り入れたことで、視覚、聴覚、触覚、嗅覚など五感を刺激する遊びを展開することができた。子どもたちにとって安心・安全な保育環境は重要であり、興味関心のあるものを主体的に遊び込める環境に用意することで、自己肯定感を育みながら個々に寄り添った保育に繋げることができた。

今後の課題として、遊びを展開していける保育者の仕掛け作りが未熟な部分もあるので、積み木やキューブ、ブロックなどの遊びの奥深さを理解し深めていくことで、より子どもたちが遊び込める環境とさらなる発想力、創造力を育んでいけるよう努めていきたい。

以上